

佐久地域選出長野県議会議員と長野県農業経営者協会  
南佐久支部・北佐久支部会員による「農業問題懇談会」が開催されました

師走も半ばの12月16日(木)に佐久市内において、長野県農業経営者協会南佐久と北佐久両支部主催により、佐久地域選出の長野県議会議員6名の皆様との「令和3年度農業問題懇談会」が開催されました。

南佐久支部の野菜農家からは、本年度も引き続き、猛威を振るう新型コロナウイルスの影響で、外国人実習生が入国できず、農作業の労働力確保に大変苦労した年となり、農業生産現場は混乱している状況である提言が出されました。

また、北佐久支部の水稻農家から、道路交通法の改正で、新規取得した普通自動車免許では運転できる車両範囲が狭まり、大型化する農業機械の運転や運搬に支障をきたす事態が発生し、車両の条件にあった免許取得が新たに必要になっていることと、農業資材が値上がる一方で、米価の引き下げで厳しい状況下であるという問題が提起されました。

懇談会での話題の中心は、昨年に引き続き「労働力の確保」が切実な問題になっており、外国人労働力に頼らざるをえない状況です。県議からは問題解決に向けて、国へ働きかけて行きたいと、力強いご意見をいただきました。短い時間ではありましたが、地元県議会議員の皆様方と活発な意見交換をすることができました。

